らんこし
Rankoshi

2019 6 June

No.766

主な内容

■ 春の遠足 ・・・・1
■ まちの話題 ・・・・3
■ 平成 30 年度下半期財政状況 ・・・・5
■ 消防署蘭越支署からのお知らせ ・・・・11
■ 蘭越高校通信（VOL.47） ・・・・13
■ こぶしにまなぶ（VOL.301） ・・・・15
ほか

▲5月23日　字三笠の尻別さけます事業所蘭越施設において、蘭越小学校２年生による「さけます放流体験」が行われました。児童達は小さなサクラマスの稚魚に「可愛いね」と声をかけ、大きく育ち尻別川に戻ってくる事を願いながら放流を体験しました。

広報らんこし 6月号
●発行日/令和元年年6月17日●通算/766号●発行/蘭越町●住所/〒048-1392北海道磯谷郡蘭越町蘭越町258-5（TEL0136-57-5111）●編集/総務課広報広聴係●印刷/株総北海
●ホームページ http：//www.town.rankoshi.hokkaido.jp/ ●Eメール kouhou@town.rankoshi.lg.jp

わがやのアイドル

名　　前　野口　与満（ともみち）・ユジンちゃん　1歳4ヶ月
生年月日　平成３０年　１月３０日
ご 両 親　圭介さん、ローラ・ルツさん
命を与える神様が必要なものを与えて、それは満ちるほどである事を覚えて名付けました。また、半分アメリカ人であるため、アメリカにいるおじいちゃんの名前にちなんでユジンを付けました。歩けるようになり、それが楽しいようでずっと歩き回っています。また、兄姉たちの真似をするのもマイブームです。
お好さんへメッセージ　与満はいつも笑って、手が掛からなくて、よく寝る子で家族に笑顔を沢山与える存在です。一緒にいるだけで癒されます。成長を見るのが楽しみ。愛してるよ！！

～昆布温泉病院託児所～ ちびっこぎゃらりー

作品「あじさい」

もろおか　ゆき　ちゃん（1さい）
なぐも　けんしん　くん（2さい）
おかもと　こゆき　ちゃん（1さい）
かがわ　けんた　くん（2さい）
にしの　みお　ちゃん（2さい）

貝と人とのかかわり ～紅ハマグリ～

貝は古くから人とかかわりがあり、食用として利用されるだけではなく、装飾品やお金としても利用されてきました。また、常用漢字にも「貝」の字が使われる字体があり、密接な関係にあることが伺えます。

以前、貝と人のかかわりについて、ハマグリを使った「貝合わせ」について説明しました。貝合わせは、江戸時代の神経衰弱のようなもので、二枚貝の貝殻両側に、同様な図柄を描き、様々な絵柄を用意し、その中から合致するものを探し、遊ぶための遊具でした。金粉や銀粉を使った高価なものは、嫁入り道具として使われる場合もありました。

今回、「紅ハマグリ」について紹介します。紅ハマグリも貝合わせと同様に、ハマグリの貝殻を使っており、両側の貝殻に図柄が描かれています。紅ハマグリは、軟膏などの薬を入れたり、現在で言う口紅に当たる化粧品を入れるための容器として使われていました。中でも、口紅を入れるハマグリには、色鮮やかな花模様が描かれており、図柄を描く際、画材の絵の具に貝殻を粉砕して作った粉を混ぜることにより粘性を高め、画材を立体的に盛る手法が流行っていました。

写真は昭和初期の紅ハマグリで、片殻には桜の花、もう片殻には梅の花が描かれています。二枚貝は、二枚の貝殻を持ち、同一個体の貝殻でなければ、二枚の貝殻が合致しない性質があります。これらは、貝殻の仕組みを上手く利用して作られたもので、貝と人とのかかわりが深いことを象徴する貝細工と言えます。

▲ 紅ハマグリ（東京都 石川謙二氏 寄贈）

VEGETABLE OIL INK